

新潟市秋葉における 住民幸福度調査の プロセスと結果および活用

大正大学地域創生学部

金子 洋二

秋葉区自治協議会とは

秋葉区内に11あるコミュニティの代表、経済・文化・福祉団体の代表、有識者、公募委員からなる住民を代表する組織。活動の理念に「議論と行動」「区民主働サポート宣言」を掲げる。

平成の大合併の際、地元の議会がなくなることにより住民の声と市政との距離が開くことを防ぐために新潟市内8つの区ごとに設置された。

新潟市秋葉区 プロフィール

人口	約77千人 2005年に旧新津市と旧小須戸町が新潟市と合併する際にひとつの行政区として成立
高齢化率	約26%
地理	信濃川・阿賀野川・小阿賀野川といった河川に囲まれた平地と低い丘陵から成る。新潟市の中心部からは車で30分弱であり、都市と里山、農地が同居する自然豊かな地域。
特産品	花き（さつき、アザレア、ボケ）
主な観光資源	新潟県立植物園、鉄道資料館、石油の里、にいつフラワーランド、花夢里にいつ、温泉（3か所）

国際的な幸福度調査

「世界3大幸福度調査」と呼ばれるものがあり、それぞれに特色がある。

名 称	実施主体
世界幸福度調査	国際連合
地球幸福度指数(HPI)	New Economics Foundation（英）
幸福度調査	WIN/Gallup International（スイス）

国内の調査事例

◆愛知県長久手市

2014 ながくて幸せ実感調査隊

◆福島県会津美里町

2012 公益財団法人東北活性化研究センター

(参考になる調査・研究)

国民生活選好度調査* 1995~2011

幸福度に関する研究会* 2011

※共に内閣府

秋葉区民幸福度調査の目的

1

区民自らが「秋葉区に暮らす幸せ」とは何かを考え、地域の資源と強みを再評価すると共に、地域の魅力を内外に発信するための材料を得る

2

地域の課題を明らかにし、新潟市政および秋葉区政に反映させると共に、秋葉区自治協議会の事業立案の参考にする

調査概要

期間： 令和3年8月10日～10月8日

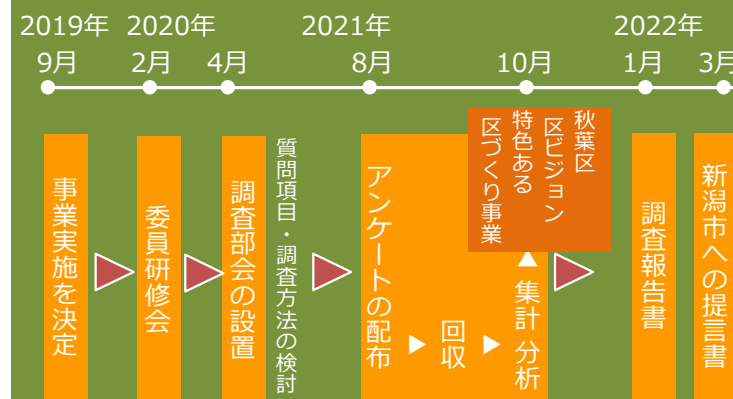
対象： 令和3年4月時点で秋葉区在住15才以上の中から無作為抽出された2,000人およびウェブ上での回答者募集

回答数：1,035件（うちウェブ募集による回答143件）

アンケートの設計・集計と分析：

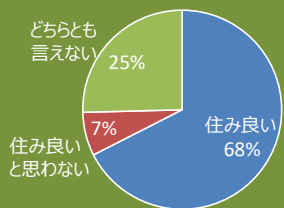
自治協議会が設置する調査部会を中心に
行い、大学やまちづくりNPOの協力を得る

調査のプロセス

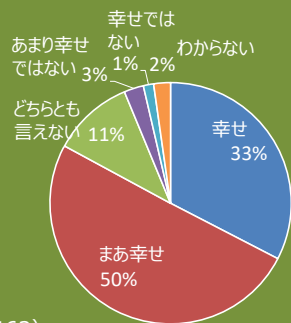


【調査結果】住み良さ・幸福感

秋葉区は住み良いか



あなたは現在幸せか



「幸せ」にとって重要なこと

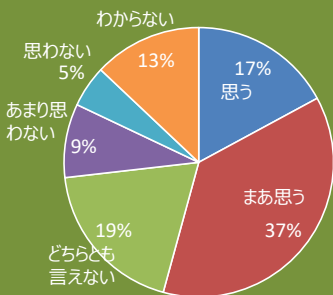
- 1位 健康 (664)
- 2位 家族のつながり・調和 (462)
- 3位 所得などの家計 (328)

【調査結果】住み良い理由

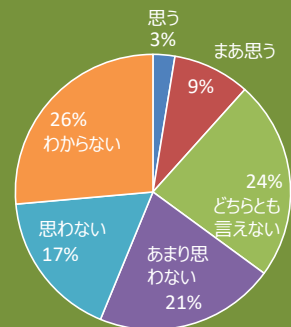
- 1位 災害が少ない (393)
- 2位 交通上の利便性 (324)
- 3位 買い物や食事に便利 (308)
- 4位 自然豊かである (295)
- 5位 犯罪が少ない (210)

【調査結果】仕事

仕事と生活のバランスはとれていると思うか



秋葉区は仕事が見つかりやすく就業しやすいと思うか

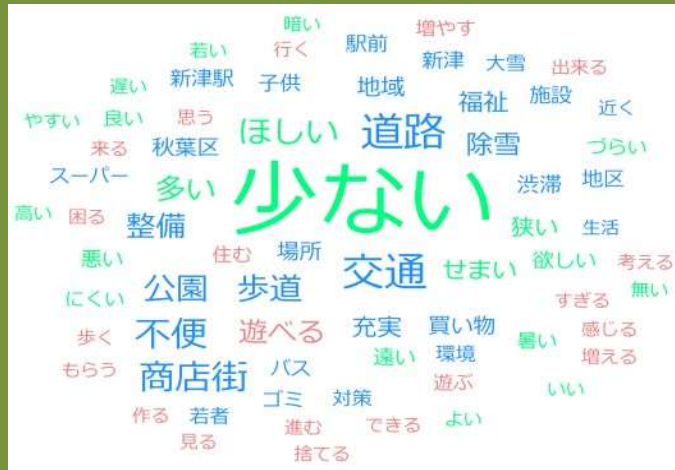


【調査結果】秋葉区の魅力 ワードクラウド



※UserLocal(C)テキストマイニングツールを使用

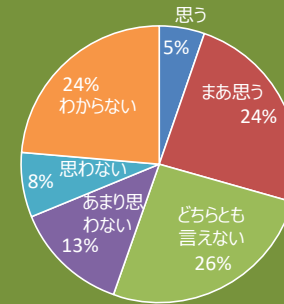
【調査結果】秋葉区の気になること ワードクラウド



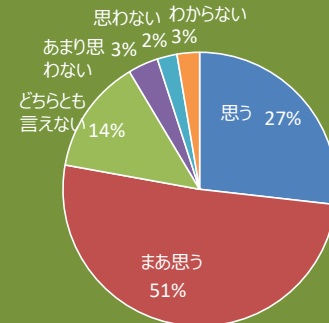
※UserLocal(C)テキストマイニングツールを使用

【調査結果】安心と安全

秋葉区は高齢者や障がいのある人にとって暮らしやすいと思うか

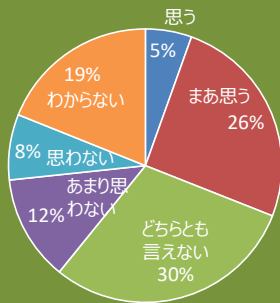


住んでいる地域は安心して暮らせると思うか

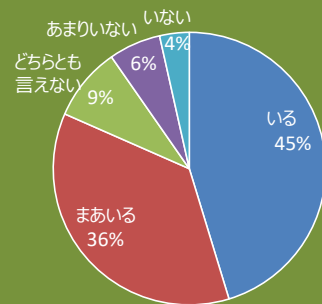


【調査結果】コミュニティ

住んでいる地域では困った人への助け合いはできていると思うか



大切なものや価値を共有できたり共感できたりする人がいるか



新潟市長・秋葉区長宛に提言書を提出

7つの提言項目

1. 地域の特色を生かした産業振興と起業の促進
2. 支え合いを実感できる仕組みの構築
3. 子育て世代に選ばれる環境づくり
4. 人にやさしい生活インフラの整備
5. 文化芸術に親しむソフトの強化
6. 災害に備えた行動を促す
7. 幸福度を市の施策の共通目標に

https://www.city.niigata.lg.jp/akiha/torikumi/jichi/r3_kurashi.html